

中条中学校 学校運営協議会だより ～コミュニティ・スクールの充実 を目指して～ 令和7年5月

5月22日（木）に、令和7年度第1回中条中学校学校運営協議会が開催されました。今年度の委員の皆さんが任命され、新たな第一歩を踏み出しました。委員の皆さんは以下のメンバーです。今年度、よろしくお願ひいたします。個人情報保護のため役職のみの掲載とします。



1	学校運営協議会長、互親会会長	2	学校支援コーディネーター、中条小後援会長 中条公民館長
3	同窓会長	4	青少年育成協議会会長
5	前同窓会長	6	大井田公民館分館長、東小CS委員
7	大井田地区青少年育成協議会会長	8	中条地区振興会長、自主防災会会長
9	R6 PTA会長	10	R7 PTA会長
11	R7 PTA副会長	12	R7 PTA副会長
13	中条地区地域支援員	その他校長、教頭、学校職員です。	



第1回学校運営協議会では、中学校から学校経営方針の説明をして、ご承認いただきました。令和7年度5月までの生徒の様子をスライドショーで見させていただいた後で、昨年度の熟議や生徒へのアンケート結果を踏まえ、地域と学校の連携をさらに深め、実現可能なものにするための方策等について、具体的な行事を取り上げ、熟議を行いました。

校長より

学校運営協議会の役割である「学校の基本方針の承認」では、常に「学校の応援団」として温かく熱い思いを感じるご意見をいただいています。この会の特徴の一つである「生徒との熟議」は年々熱を帯び、多くの取組を具体的に進め、進化を繰り返しています。何よりも地域の皆さまとの距離が近くなったと思います。ふるさと十日町を愛する生徒の育成につながります。

「地域とともに歩む学校づくり」と中条中の伝統である「あせまみれ運動」の一層の充実を目指し、学校運営協議会委員を中核として、「地域の宝」である生徒へのご支援をお願いしたいと思います。



意見交換のテーマ

「学校行事、地域行事での地域との関わり方」



【体育祭】

地域の踊りを取り入れ、勝ち負け関係なく、地域の方と一緒に取り組む。

昨年度の玉入れは、地域の方と生徒と交流があり、よかった。

体育祭の地域交流種目に参加した方に、景品を準備したらどうか。

各町内に広告(ちらし)を貼って事前に募集をしたらどうか。

世代関係なく、全体で楽しい雰囲気を作る催し物を入れる。

玉入れだと、小さい子がやりづらいので、グラウンドに的を書き、そこに球を投げ入れる。

昨年度、参加者は多かったが、関わりという点で少なかった。もう少し、関わりがもてるとよい。

競技をするだけでなく、作戦会議の必要なルールにして、交流を深める。



【地域の行事】

地域行事をチラシで知らせてはどうか。地域のLINE等SNSを使って周知する。

ダンスや歌等、出し物を生徒会で企画する。

地域の行事は、吹奏楽部は参加したい。生徒が企画(出し物等)し、景品等を振興会が用意する。

どのように関わるか考えていきたい。

進行を中学生が担当する。町内行事等、参加しやすい行事から参加していく。神宮寺の清掃活動等

企画の段階から関わるとよいのではないかと。

夜だけでなく、昼の部を実施してはどうか。

ステージだけでなく、作品を展示するのはどうか。作品展示スペースを作る。

学校運営協議会を終えて、委員の皆さん(◎)や生徒の振り返り(☆)より

◎生徒と地域関係者が、顔の見える関係になることで、様々な行事がスムーズに企画、運営ができることを期待できる会となりました。

◎グループ協議の時間をもう少し長く確保してほしい。

◎年々、地域と子どもたちの会話が少なくなってきたので、このような会で様々な考えや思いを聞いて良かったです。

◎各グループで、学校及び生徒が積極的な姿勢で話し合いに参加していてよかった。出た意見を地域でも共有していきたい。

☆事前の説明が丁寧で、今年度から参加した人も自然に話し合いに参加できていた。

☆地域と学校とで話し合いの場がありよかった。生徒会の中でも地域との関わり方について考えていきたい。